

# モバイルセントレックス始動 営業先行で大型顧客争奪へ

モバイルセントレックスがにわかに注目を集めている。携帯電話を内線として利用するもので、NTTドコモ、KDDI、ボーダフォンの各社が相次いでサービスを投入している。

ある大手キャリアの法人営業担当者は、「モバイルセントレックスは、携帯電話が本当の意味で企業ネットワーク市場に参入するための初めての切り札」と明かす。

従来、企業において携帯電話は、社内ネットワークとは切り離された「付加機能」と考えられていた。このため、社内ネットワークとの連携も、業務システムなど一部のフロント系にとどまっていたのが現実だ。

コンシューマー市場の成長に頭打ち傾向が見られる現在、「最後の未開拓市場」として法人市場攻略に力を尽くしてきたキャリア各社。だが、これまでのところ、必ずしも華々しい成果はあがっていなかった。その

流れが「モバイルセントレックス」と呼ばれる新たなサービスの登場で変わろうとしている。

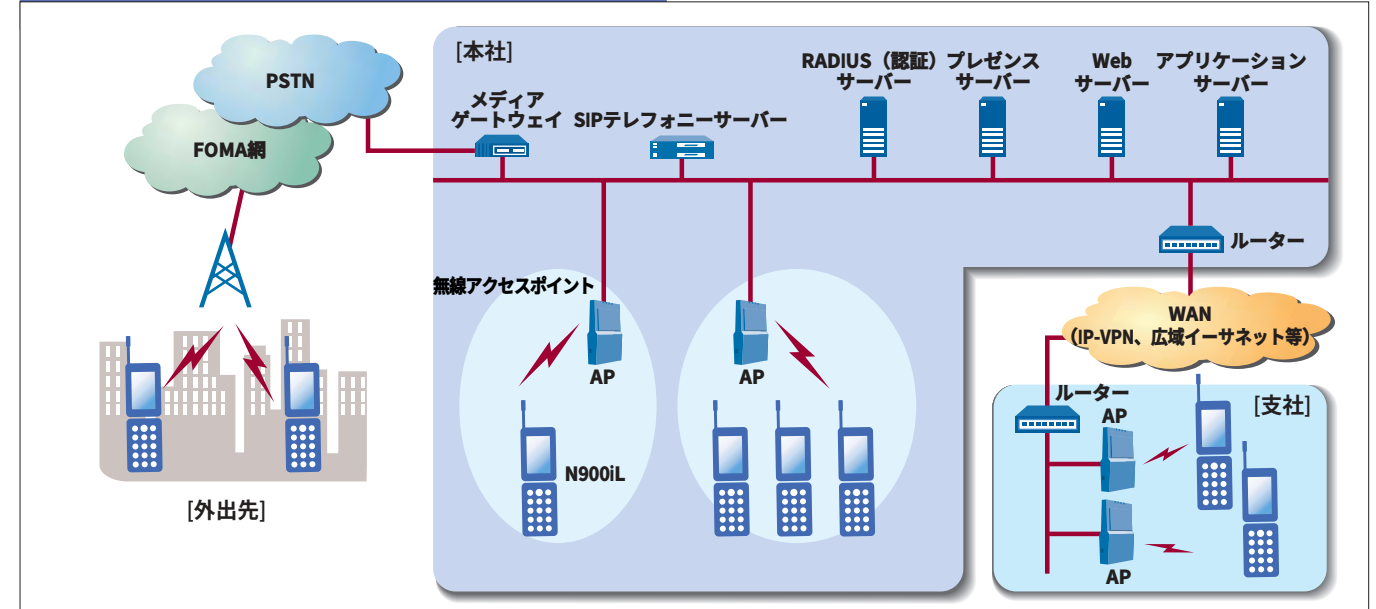
にわかに注目を集めているモバイルセントレックスだが、明確な定義はまだ定まっていない。キャリアによってはモバイルセントレックスという言葉を使わないように通達しているところもあるようだ。ここでは、携帯電話を内線電話として使うサービス機能をモバイルセントレックスと呼ぶことにする。

今年6月から7月に掛けて、NTTドコモ、KDDI、ボーダフォンの携帯電話3キャリアが相次いでこのサービスを発表した。「PASSAGE DUPRE（パッセージ・デュプレ）」

「OFFICE WISE（オフィスワイズ）」「Vodafone Mobile Office（ボーダフォン・モバイル・オフィス）」がそれだ。これを受け7月15日には、大阪ガスがNTTドコモのPASSAGE DUPREの採用を決めた。2006年度からNEC製のFOMA端末「N900iL」約1万2000台の端末を用い、49拠点に導入すると表明し、業界の話題となっている。

モバイルセントレックスの導入には、さまざまなメリットが期待されている。これまで、企業の音声ネットワークはPBXやビジネスホンを中心に構成されていた。多額のPBXの保守費用のほか、オフィスのレイアウト変更時には大掛かりな移転・配線

図1 PASSAGE DUPREのシステムイメージ



NTTドコモ、  
ビジネスプロダクト部の  
安田準担当部長

工事が必要だった。無線通信を使うモバイルセントレックスなら、最小限にとどめることができる。

また、携帯電話を社員に配布する企業が増えてくるにつれ、社内ネットワークとして一元管理したいという要望も高まっている。各種の業務システムと携帯電話の連携効果も期待されている。

モバイルセントレックスは、システムとしてみると3社3様であり、それぞれが「似て非なるもの」と考えたほうがよさそうだ。そこで、3キャリ

アが提供するモバイルセントレックスサービスの内容を個別に見ていく必要があるようだ。

## FOMAと無線LANを融合

NTTドコモのPASSAGE DUPREは、FOMA端末と無線LAN端末を1つにしたデュアルバンド機「N900iL」の導入が前提になる。これにより、構内では無線LANにより企業ネットワークに直結。屋外ではFOMA網による通信が可能で、ユーザーが手動・自動で待ち受けモードを選択し利用する仕組みだ。屋外では公衆サービスが基本になるため、ここでは企業ネットワーク連携について詳解する。

企業ネットワーク側では、IPテレフォニーシステムの導入が前提になる（図1）。PASSAGE DUPREでは

VoIPの呼制御にSIPを用いており、現在のところNEC製SIPテレフォニーサーバー「SV7000」が対応している。NTTドコモでは今後、仕様をオープンにして他ベンダーのSIPサーバー、IP-PBXへの対応を促進する考えだ。

無線LAN区間については、IEEE802.11bに対応しているため、通常のワイヤレスコントローラーとアクセスポイントの構成でよい。セキュリティは、WEP、WPA、802.11xを利用できる。

支店・営業所などの拠点間通信については、一般公衆網経由でIP-PBXに接続するパターンと、IP-VPNなど専用線経由でWANを構築するパターンが可能だ。

NTTドコモ、法人営業本部の安田準法人オリジナル・ソリューション

### FOMA

NTTドコモが世界に先駆けてサービスを開始した3G携帯電話サービス。国際標準IMT-2000に準拠している。最大384bpsのデータ通信によるマルチメディア機能が人気を呼んでいる

### SIP

Session Initiation Protocol：VoIP向けのプロトコルの1つ。インターネット技術の標準化団体IETFが規定している（RFC2543、最新の規格はRFC3261）。インターネット/WWWとの親和性が高く、テキストベースのため、インプリメントやデバックが容易といった特徴があげられる

NTTドコモのFOMA／  
無線LANデュアル端末「N900iL」